

「ARA メール」ユーザ募集のご案内

近年、局地的集中豪雨(ゲリラ豪雨)や台風の接近上陸に伴う洪水被害を耳にすることが多くなりました。この様な異常気象時においても、洪水の発生に先立ち、安全に行動して頂けるよう、河川の管理に使用している川の水位や雨量の情報を携帯電話機に送信する、事前登録型雨量水位情報メール配信システム（ARA メール）を整備することと致しましたので、ご案内させていただきます。

1. ARAメールの概要

- ① 荒川が氾濫した場合の浸水想定区域の対象となっている荒川下流域の東京都 12 区、埼玉県 6 市の地域を対象としています。
- ② 基準水位観測所および雨量観測所から 10 分間隔で情報を取得し、設定した基準値に達した場合にメールを配信します。水位は基準を超えてかつ上昇傾向の間は毎正時にも配信します。
- ③ 配信対象とする情報は以下の通りです。

<水位情報>

■本川氾濫の参考用

岩淵水門（上）水位観測所

<雨量情報>

■内水氾濫の参考用

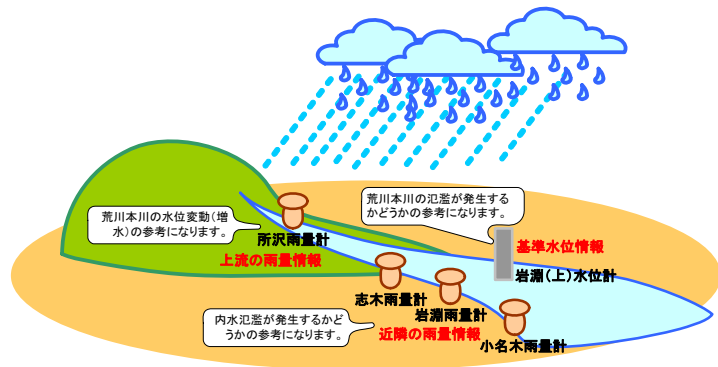
小名木、岩淵、志木雨量観測所

■水位変動（増水）の参考用

所沢雨量観測所

その他、イベント情報の案内やシステム管理用メールを配信する場合があります。

- ④ 情報配信の対象者は、異常気象時に荒川下流域の河川情報を必要とする「流域住民」や「河川敷利用者」等のうち、事前にシステムにユーザ登録して頂いた方です。



2. 配信画面イメージ

水位や雨量が基準値（下記参照）に達すると携帯電話に水位や雨量の状況を伝えるメールが届きます。メールに記載された詳細ページ（Web ページ）へのリンクへアクセスすると、登録地域専用の情報ページが表示されます。詳細ページには、外部の情報提供ページにリンクもあり、さらに詳細を確認することも可能です。ただし、リンク接続には別途通信料が必要になります。

水位情報

対象観測所	提供タイミング
荒川基準水位（岩淵水門(上)）	<ul style="list-style-type: none"> ・水位上昇時は、基準水位（はん濫危険水位、避難判断水位、はん濫注意水位、水防団待機水位）を超えた場合と、<u>基準水位（はん濫注意水位）</u>を超過中で、直近の正時と比較して水位が上昇傾向にある正時。 ・水位下降時は、はん濫危険水位、はん濫注意水位を低下して 30 分経過した場合。

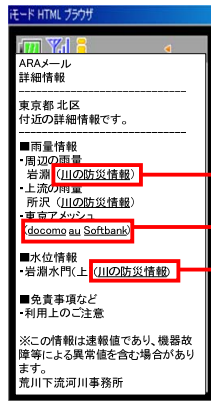
雨量情報

対象観測所	提供タイミング
岩淵、小名木、志木、所沢	<ul style="list-style-type: none"> ・直近の 10 分雨量が 10mm/10min を超過した場合。

1) メール



2) 詳細ページ



3) リンク情報



川の防災情報

東京アメッシュ

※リンク接続には別途通信料が必要

3. ユーザ登録方法

セキュリティを考慮し、携帯メールアドレスで個人認証を行います。

■ ユーザ登録 HP (携帯電話専用)

<http://www3.ktr.mlit.go.jp/arage/araml/main.php>

また、上記の HP ではなく、携帯電話のメール機能にて直接登録用メールアドレスを宛先に入力し空メールを送信しても、同様に登録手続きができます。

■ 登録用メールアドレス

join20001@araml.ktr.mlit.go.jp

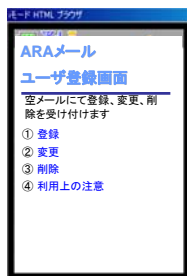


登録 HP 用 QR コード

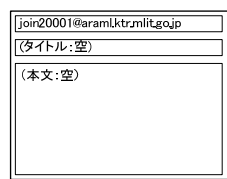
■ 登録の流れ

- 1) 登録用HPから登録を選択し、登録用の空メールアドレスを取得する
- 2) メール画面に遷移するので空メールを送信する
- 3) 地域登録用HPのアドレスが記載されたメールが返送されるので、アドレスをクリック
- 4) 地域登録画面で地域を選択する

1) 登録HP

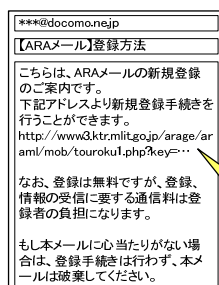


2) 空メール作成・送信



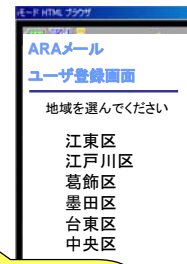
携帯電話のメール機能にて、直接登録用メールアドレスを宛先に入力し空メールを送信しても、同様に手続きができます。

3) 専用ページ案内



このアドレスはメール毎に変化しますので、図では例として示しています。

4) 地域登録



登録完了

4. 費用

ユーザ登録は無料ですが、登録、情報の受信に要する通信料は利用者の負担になります。

5. お問い合わせ

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 河川情報課
 担当：中村 または 池部
 TEL：03-3902-2386

ARAメール 説明資料

1. システム整備の目的

近年多発する傾向にある局地的集中豪雨(ゲリラ豪雨)や台風の接近上陸に伴う洪水被害に対応するため、普及率の高い携帯端末に、事務所が保有する河川水位や降水量の情報を配信することにより、適切な避難誘導を支援するものである。

なお、システム管理(システムの健全性確認、ユーザの把握等)のため、月1回程度の頻度で工事・イベント情報等の配信を行う。

2. 情報配信対象者

情報配信の対象者は、異常気象時に荒川下流域の河川情報を必要とする、「流域住民」や「河川敷利用者」等のうち、事前に登録した者とする。

3. 配信対象地域と配信情報

情報配信の対象となる地域は、荒川下流域沿川の浸水想定ハザードマップ対象6市12区とする。

また、配信する情報は、「岩淵水門(上)」の水位情報並びに小名木、岩淵、志木および所沢の雨量情報とする。

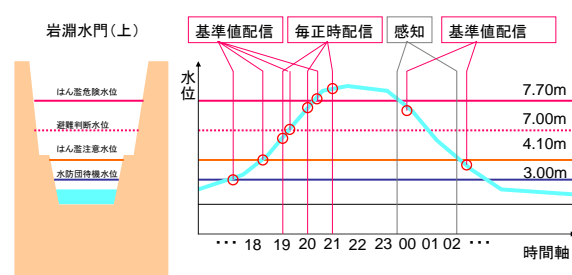
		雨量				
		水位 本川氾濫 の参考用	内水氾濫 の参考用			水位変動増 水予測用
			岩淵水門(上)	小名木	岩淵	
東京都	江東区	○	○			○
	江戸川区	○	○			○
	葛飾区	○	○			○
	墨田区	○	○			○
	台東区	○	○			○
	中央区	○	○			○
	千代田区	○	○			○
	港区	○	○			○
	足立区	○		○		○
	荒川区	○		○		○
	板橋区	○		○		○
	北区	○		○		○
埼玉県	川口市	○			○	○
	草加市	○			○	○
	戸田市	○			○	○
	鳩ヶ谷市	○			○	○
	八潮市	○			○	○
	蕨市	○			○	○

4. 提供のタイミング

事実を正確に伝えて、避難行動の準備と避難行動を支援するために、災害時においては、下記の基準(提供タイミング)により水位、雨量のどちらかが閾値を超えたら両方のデータを配信する。水位は基準を超えてかつ上昇傾向の間は毎正時にも配信する。

1) 水位情報

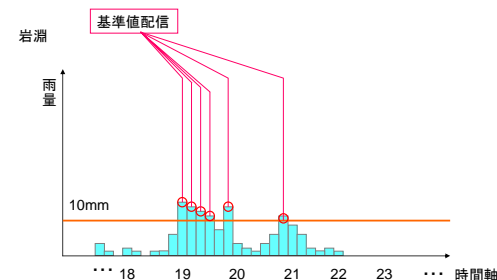
対象観測所	提供タイミング
荒川基準水位(岩淵水門(上))	<ul style="list-style-type: none"> 水位上昇時は、基準水位(はん濫危険水位、避難判断水位、はん濫注意水位、水防団待機水位)を超えた場合と、基準水位(はん濫注意水位)を超過中で、直近の正時と比較して水位が上昇傾向にある正時。 水位下降時は、はん濫危険水位、はん濫注意水位を低下して30分経過した場合。



はん濫注意水位を超えて水位の上昇が続くと、次は避難判断の段階になる。そのため毎正時の水位状況を知らせるしきい値をはん濫注意水位とした。

2) 雨量情報

対象観測所	提供タイミング
岩淵、小名木、志木、所沢	<ul style="list-style-type: none"> 直近の10分雨量が10mm/10minを超過した場合。



3) イベント情報

対照情報	提供タイミング
荒川下流河川事務所保有情報	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回程度 随時

※イベント情報の内容は、河川管理区域内で実施するイベント情報、工事情報等に限定する。

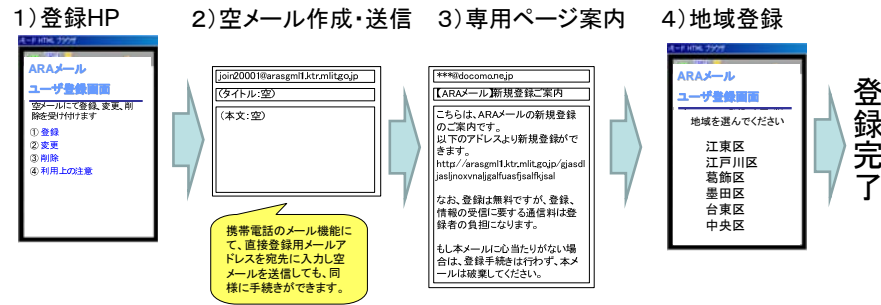
5. 登録の流れ

なりすましなどのセキュリティを考慮し、携帯メールアドレスで個人認証を行う。

登録の流れは、以下の通り。

- 1) 登録用HPから登録を選択し、登録用の空メールアドレスを取得する
- 2) メール画面に遷移するので空メールを送信する
- 3) 地域登録用HPのアドレスが記載されたメールが返送されるので、アドレスをクリック
- 4) 地域登録画面で地域を選択する（登録する市区は複数選択可能）

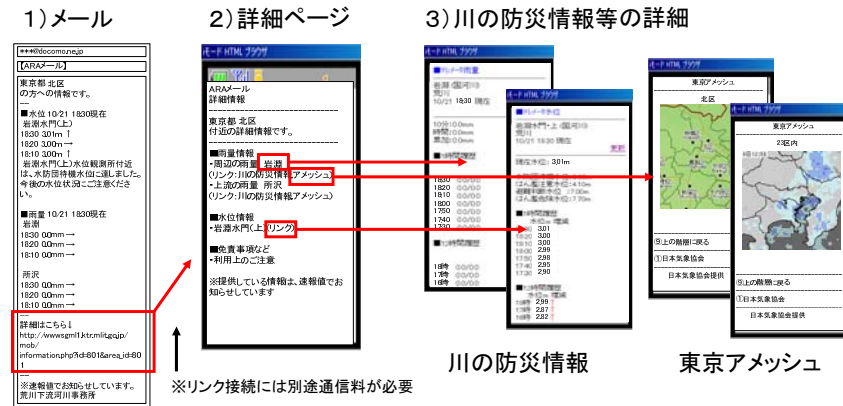
登録は無料であるが、登録、情報の受信に要する通信料は登録者の負担になる。



6. 情報提供の流れ

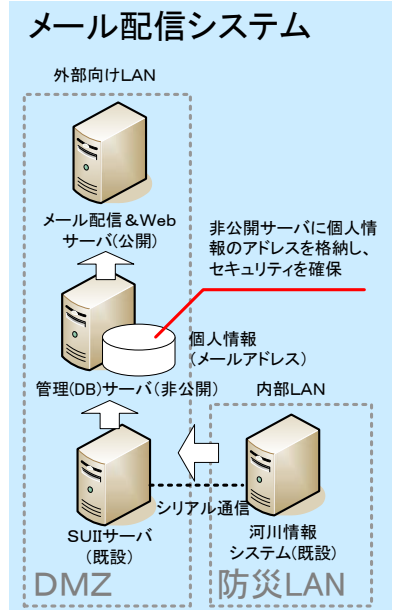
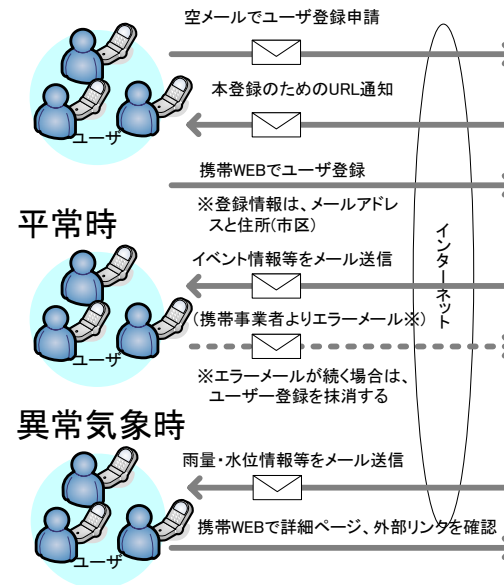
手元に直接届く情報（PUSH型である携帯メール）により、雨量、水位の情報が提供される。

メールに記載されたリンクのアドレスをクリックすることにより、登録された地域専用の情報ページが表示される。詳細ページからは、専用の情報提供ページにリンクされ、さらに詳細を確認することが可能となる。なお、リンク接続には別途通信料が必要となる。



7. システムイメージ

登録時 (解除時も同様の流れ)



※メールの送受信、登録や携帯WEBでのリンク接続は通信料が発生し、利用者の負担となる。

図 1 システムイメージ